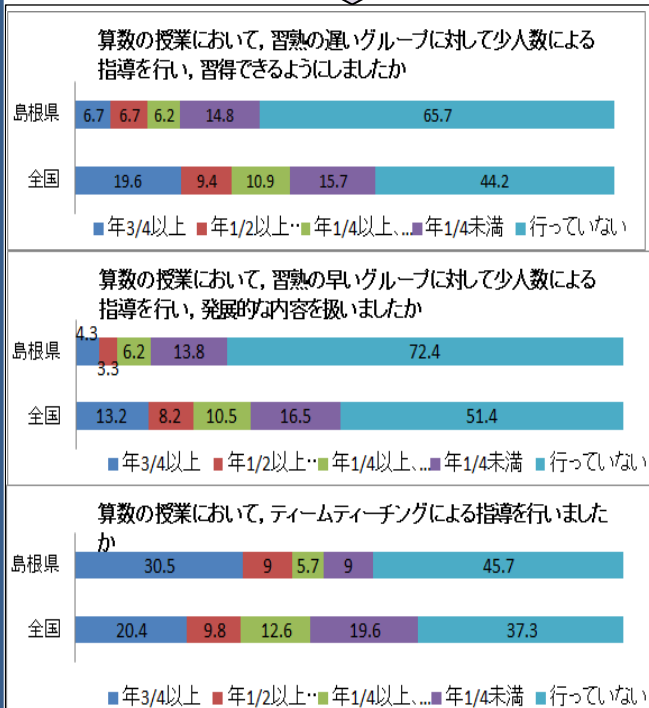


少人数指導がなぜ必要か

平成 26 年度全国学力・学習状況調査の学校質問紙調査によると、島根県は、「TTによる指導」は全国に比べ「3/4以上実施している」割合は高いが、「習熟度別少人数指導」の実施状況が少ないことがわかります。



今年度の全国調査によると、小学校において「算数が好きですか。」という質問に「あてはまる」と回答した児童が、島根県 30.8% (全国平均 38.4%) であり全国で最も低い割合でした。また、「算数の授業の内容はよく分かりますか。」という質問では、「あてはまる」と回答した児童は 38.3% (全国平均 44.7%) であり、算数の内容の理解についても、全国平均より 6.4% も低い割合を示しました。

今、島根県の算数科の授業において、児童の意欲を引き出す工夫や、分かりやすい授業となるような指導の工夫改善が求められています。児童の意欲の向上や確かな学力の定着のため、個に応じたきめ細かな少人数指導（習熟度別指導）を今こそ改善充実させていく必要があります。

習熟度別少人数指導を多くの時間で行っている学校の方が、学力上位層が多くて学力下位層が少なく、年間を通して行った学校の方が学力は高いようだ。

算数が好き・大切・よく分かると答えている児童も多いから、意欲面からみても大切ね。

習熟度別少人数指導の実施状況と、児童の自尊心には、関連が見られないという結果が出ているんですって。

平成 20 年度 習熟度別少人数指導「全国学力・学習状況調査追加分析について」より

少人数指導のねらいと実施について

少人数指導のねらい

少人数の集団編成による学習指導（少人数指導）を推進することによって、児童生徒の理解や習熟の程度、興味・関心などに応じたきめ細かな指導の充実を図り、確かな学力を育成する。

少人数指導を効果的に実施するためには、教科や授業担当者だけの取り組みとならないように学校全体で心がけることが大切です。

学校全体の共通理解と協力体制

次のことが、校内で行われていますか？
チェックしてみましょう！

- 新しい学年がスタートする前に、児童の学習状況を把握し課題を洗い出して、少人数指導を行う教科、学年、時数等を明確にしている。
- 教育課程編成の方針に少人数指導のねらいを明記したり、学年や単元についても事前に年間計画に位置づけたりしている。
- 校内研修で少人数指導の研修を取り上げ、基本的な考え方を共有している。
- 担当教員と担任の打ち合わせの時間を確保し、共通理解のもとに指導や評価を行っている。
- 積極的に少人数指導の授業を公開し、授業研究をしている。

「学習指導要領総則第 1 章第 4 の 2 (6)」には以下のように示されています。
各教科等の指導に当たっては、児童が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校の児童生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童生徒の興味関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。

少人数指導

少人数指導（習熟度別）実践例

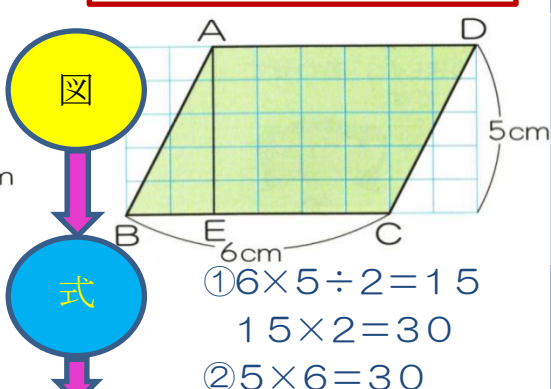
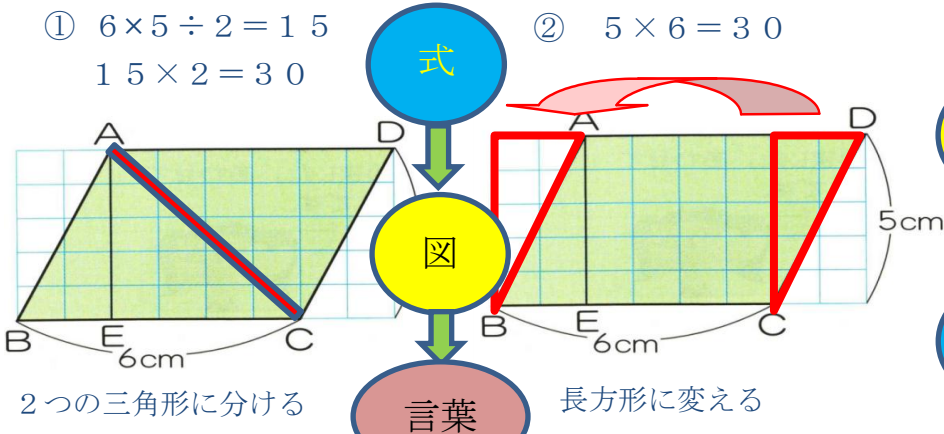
チャレンジ（発展）コースのねらい
図と式の関係性を捉え、多様な平行四辺形の求積方法を説明することができる。

1 単位時間における評価問題の工夫

じっくり（補充）コースのねらい
平行四辺形求積方法を説明することができる。

平行四辺形の面積の求め方を学習した方法で、解きましょう

次のような平行四辺形の面積を①および②のように考えて求めました。どのように考えたかを説明しましょう。



式を読む活動を取り入れ、その意味を図に表しながら、それぞれについて説明し、言語活動の充実を図る。

学習した求積方法のどちらか 1 方で解く。または、2通りのやり方で解き、わかりやすかった方に印をつけ学習を振り返る。

学習集団の編成方法
「機械的に分割した等質編成」
「理解や習熟の程度に応じた編成」
「興味・関心や課題の違いに応じた編成」

自分に合った勉強ができて、授業がよく分かるようになったよ。
先生に質問しやすく、分からないことが解決できて、またやりたくなるよ。

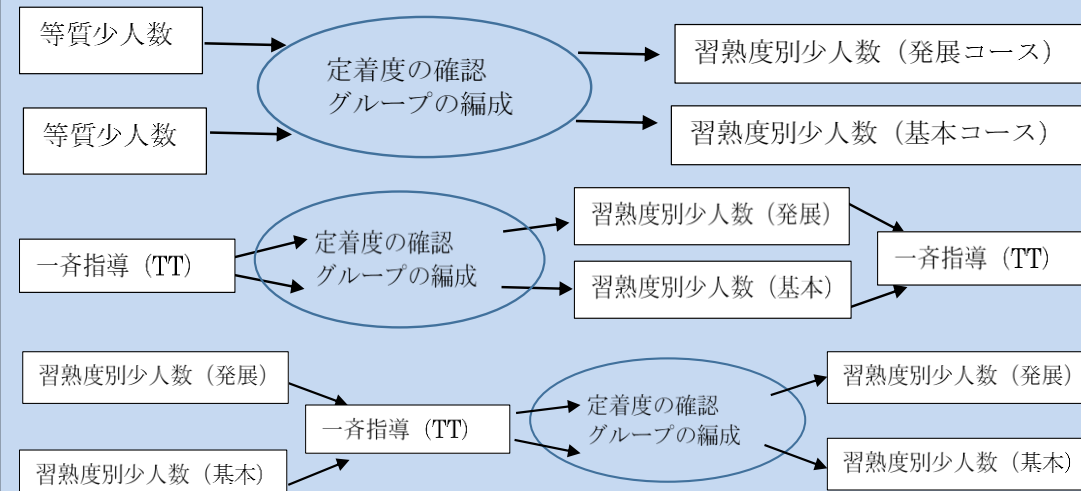


少人数指導の工夫

～個に応じたきめ細かな指導により確かな学力の定着のために～

指導形態

「習熟度別少人数指導」を中心にして様々な指導形態を効果的に柔軟に組み合わせ、個に応じた指導を進めていくことが大切です。



単元だけでなく、「1 単位時間内」においても柔軟な指導形態が考えられます。いずれにしてもきちんと評価し、指導形態・指導方法を工夫していくことで「確かな学力」の確かな定着を図ることが大切です。